



《発行所》

青山同窓会

〒951-8127 新潟市中央区関屋下川原町2-635
新潟県立新潟高等学校内
TEL 025-266-5268
FAX 025-266-5268

《編集・発行人》

長谷川 義明

《印刷所》

オリオン印刷株式会社
〒950-0963 新潟市中央区南出島1-19-1
TEL 025-283-2151
FAX 025-283-3804

新年のご挨拶

青山同窓会会長

長谷川 義明 (61回)



新年おめでとうございます。青山同窓会会員の皆様におかれましては、お健やかに新春をお過ごしのこととお慶び申し上げます。

昨年は台風が一つも上陸しないという珍しい年で、幸い自然災害は少なかったように思います。一方、円高・原料高そして経済の低迷など人為的要因によって引き起こされた災難の目立つ年でした。世界的にも経済的に困難な状態が広がり、中でも元々金融資産のリスクを下

げるために作りだされた金融派生商品や証券化商品が、過度の利益を求めるあまり反対にそのリスクを肥大化させてしまい金融システムそのものを揺るがし、長年の低金利や資産の減少、経営不振、失業といった深刻な状況を生み出しております。人間の作り出した仕組みに自ら呪縛にかかってしまっているようにです。世界の首脳たちが一堂に会して困難克服のための協力体制を組むとしておりますが、まさに人間の知恵が試されているように思えます。

青山同窓会の活動といたしましては、例年盛会裏に開催されている総会を今年度も有意義に開催できたほか、会報の発行も順調に行われております。また、第五回を迎えました青山学術文化講演会には、70回卒の東京大

学名誉教授で国際政治学者として活躍の猪口孝氏と、89回卒の携帯電話を利用した各種サービスを提供する一部上場会社社長長の南場智子さんをお迎えすることが出来ました。

猪口氏は、新しく発足する新潟県立大学学長へのご就任が決まり、まさに丁度良いタイミングでの講演となりました。講演内容は、アジア各国を対象にした子供のしつけに関する世論調査の比較で、このような調査が各国の困難な政治情勢のなかで

行われたということにも感心致しました。南場さんの講演内容は、新分野における起業精神と経営努力に関するもので、その迫力ある内容にはとても感嘆致しました。南場さんの会社が提供する情報サービスには既に一日一〇〇〇万回のアクセスがあり、若者には欠かせない情報入手の手段となっているようです。今回の講演会では、階段型の視聴覚ホールに大勢の聴衆が参加され、また、現役の学生も聴講に来てくれるなど新しい傾向も見られました。

新年におきましても同窓会各員各位がそれぞれの分野で益々ご健勝にてご活躍下さいますようお願い申し上げます。

新年のご挨拶

衆議院議員

吉田 六左工門 (66回)



青山同窓会の皆様、新年明けましておめでとうございます。

旧年中は、いつもながらの暖かいご指導ご鞭撻を賜り、一方ならぬお世話になりました。誠にありがとうございます。本年も相変わりがませざるべくお願い申し上げます。

さて、昨年一年間を振り返ってみますと、私たちの国民生活が脅かされるような経済問題が

青山同窓会新年会のお知らせ

青山同窓会会長 長谷川義明

明けましておめでとうございます。恒例の青山同窓会の新年会を開催いたします。普段会えない方々と大いに歓談して頂きたいと存じます。開催要領は下記のとおりです。各期幹事の皆様からも同期の方々に連絡をしていただきたいと思います。また参加を希望される方はお誘い合わせて事務局までご一報ください。

青山同窓会事務局：TEL/FAX 025-266-5268
電子メールアドレス niigata_aoyama@yahoo.co.jp

記

日時：平成21年2月20日(金)
受付 午後6時
開宴 午後6時30分
会場：ホテルオークラ新潟
TEL 025-224-6111
会費：6,000円

青山同窓会総会のお知らせ(予定)

日時：平成21年7月10日(金)
受付 午後5時30分
吹奏楽部演奏 午後5時40分
総会 午後6時
懇親会 午後6時30分
会場：ANAクラウンプラザホテル新潟
(旧ホテル新潟) TEL 025-245-3331
会費：6,000円

発生し、その緊急対策や支援策に奔走した年であったと実感しています。

中国やインドなど新興国の経済発展や投機的資金の流入等の原因による原油価格の高騰は、燃料・食料・飼料・原材料等の価格と相まって県民・国民生活そして企業活動などに深刻な影響を与え、県内ではイカ漁が二日間一斉休漁に追い込まれるなど農業・漁業・運送業・建設業や離島地域に対する早急な対策が求められました。また、アメリカのサブプライム問題に端を発した金融危機は、世界の金融資本市場が一〇〇年に一度と言われる混乱に陥り、欧米各国では金融機関の破綻が相次ぎ、株価の急落に示されるように、金融危機が世界規模で深まり世界的な景気後退の兆しが強まっています。

日本の金融市場についてみると、株価の大幅な下落は深刻な問題ではありますが、資金の流れ自体は、世界の主要国の中では最も安定をしています。バブル崩壊の時の経験を、金融機関、民間企業そして政府が活かして、国民生活へ多大な影響が出るのを、なんとか、ギリギリのところまでくい止めているというのが現実です。

も重要かつ喫緊の課題は景気対策です。私は、衆議院財務金融委員会理事、自民党財務金融部

会長として党内意見を取り纏め景気回復はもちろんのこと、金融機関の貸し渋り、貸し剥がしなど資金繰りに苦しむ中小零細企業の支援（金融機能強化法の改正）、都市と地方の格差是正等セーフティネットをより一層

強力に張り巡らせ、手厚い支援を行い国民生活への影響を最小限に抑えるべく国会審議に全力で取り組んでいるところです。

国民の安心・安全で豊かな生活を守ることが我々政治家の至上命題であり与えられた責務であります。私、吉田六左工門は、政治生命をかけて国民の福利厚生を図るとともに、ふるさと新

潟、生んで育ててもらった大好きな新潟のために全力を尽くす所存です。

ふだんは、永田町においては、委員会室においても、本会議場においても、青山の松籟の音を思いおこしながら、恩師・渡辺秀英先生から教示を受けた「抜山蓋世」の気概をもって、日々を過ごしております。

本年は衆議院議員総選挙を控えた決戦の年であり、私は退路を断って戦いに臨む覚悟であります。青山同窓会の諸兄弟には、今一度吉田六左工門に格段のご支援を賜わりますことを切にお願い申し上げますとともに、本年が素晴らしい年となりますようお祈り申し上げ、新年のごあいさつとさせていただきます。

新年のご挨拶

参議院議員 佐藤 信秋 (74回)



青山同窓会の皆様、明けましておめでとうございます。昨年は政治も経済も暮らしも大乱

日、福田総理が突如として辞任しました。九月二十四日の臨時国会召集以来、新テロ特措法や金融機能強化法を軸に与野党の攻防が続きました。さまざまな格差の拡大が指摘され、生活必需品物価が上昇し、凶悪事件も多く発生し、社会に不安を投げかけました。

今年こそ良い年に、と誰もが強く思うところがあります。特に我らがふる里、新潟の場合、平成十六年の水害、中越地震、十八年の中越沖地震と災害が続き、貴重な人命、財産が奪われました。二〇一四年問題として

北陸新幹線開業により、新潟の拠点性減少も懸念されています。だからこそ、災害から力強く復興し、住んでよし、訪れてよし、の新潟を一層目指す必要があります。

明治の初期、新潟の人口が全国一であったことは良く知られていることですが、国税収入もナンバーワンだった時期があることは、意外と知られていません。地租が主だった頃は、新潟をはじめ、日本海側の穀倉地帯が多く、税を収めて、近代日本の殖産興業や交通ネットワークの整備を担いました。雪が厳し

新年のごあいさつ

衆議院議員 鷲尾 英一郎 (103回)



あけましておめでとうございます。新年のご挨拶をさせていただきます。心よきありがとうございます。心より感謝申し上げます。さて、初当選から三年余り、数多くの国会質問をしてまいり

い気象も影響し、近代産業の発達が遅れ、雇用の場が少なく、大都会へ人材を供給するともに、財貨も供給してきた訳です。これからは環日本海の時代です。その一大拠点として、応援歌「ますらお」のように元気良く、新潟アズナンバーワンを目指し、アルビレックスのように魅力を掘り出し、つくり出し、数多く発信して行きたいものです。皆様にとつて、またふる里新潟にとつても、明るい、幸い多き年となるようお祈り申し上げます。

紀前半を表した「魏志倭人伝」でも対馬はわが国の領土です。六六三年の白村江の戦いに負けて対馬に防人を配備し、万葉集に歌われた防人の歌は、案内の通りです。対馬、杵岐、九州、瀬戸内を通って、現在の奈良公園の飛火野まで、敵の襲来を知らせる狼煙台が設けられたものこの頃です。元寇、秀吉の朝鮮出兵、日露の日本海戦等々、対馬は上代から中世、近代にいたるまでわが国の要衝の地であり、現在もわが国の固有の領土です。

ました。昨年十一月十四日、衆議院国土交通委員会での「対馬問題」の質疑では考えさせられました。

近年、対馬への韓国旅行者が急増し、以前は年間一六〇〇〇人程度が今年度は七万人を超えます。また、韓国資本が対馬の不動産を買占め、海上自衛隊の対馬防備隊本部の隣接地のホテルも韓国人所有となつています。

ところで、記紀の「国産み神話」に対馬が登場し、三世

北方領土はソ連が昭和二十年八月九日に日ソ中立条約を一方的に破棄し対日参戦し、不法占



青山の皆さま、新年明けまし

拠しました。昭和二十七年の平和条約発効直前、GHQが竹島などを日本の行政権から外した昭和二十七年一月十八日、李承晩政権は下サクサにまぎれて強引に竹島を不法占拠しましたが何れも混乱期のことでした。

ところが、現在の対馬では三万六千人の住民の平穏な日常が営まれているにもかかわらず、昨年韓国の与野党国会議員は「対馬の大韓民国領土確認及び返還要求決議案」を発議・提出しました。対馬は自国領だと考える韓国内の世論が形成され、韓国人観光客には対馬を韓国領と信じている人も少なくありません。

地勢上も対馬発展のためには韓国人観光客誘致は必要だと考えます。しかし、主権に係わるような事態には毅然とした対応

—大観光交流年を盛り上げましょう—

新潟市長 篠田 昭 (75回)

とおめでとうございます。市民の皆さまとつくり上げた政令指定都市に移行して一年九カ月が過ぎました。この間、まちづくりや活性化、教育・人づくりなどの分野で少しでも多くの方に「政令市効果」を感じていただけるように努めてまいりました。

をしなければ、かえって将来に禍根を残すことになる。このような視点で質疑をしました。しかし、どの省庁も所管でないことと逃げてしまえばかりです。官僚組織は問題を先送りし、あえて自らが火中の栗を拾うことはありません。やはり、国民に選挙で選ばれた政治家が、官僚をコントロールしなければ、日本の将来は大変なことになると改めて肌で感じました。詳しくはホームページ <http://www.washio-e.jp/> をご覧頂ければ幸いです。

最後に青山同窓会の皆様の今年一年のご健勝ご多幸をお祈りし、丈夫魂を忘れず青陵健児の名に恥じぬ活動をするをお誓い申し上げます。本年もよろしくお願いたします。

いま振り返ると、政令市は大変良い時期に船出したと思えます。逆に言えば移行後はなかなか厳しい時代が続いております。一昨年夏の中越沖地震は、企業立地や交流人口の拡大に大きく影を落としました。その後原油高、原材料高など経済環境が大変厳しくなったことを受けて、市は昨年の年明けから「雇用創出・拠点化推進本部」を設置。活性化に全庁で取り組み、それなりの成果を挙げることができました。G8の労働大臣会合も皆さまのご協力で成功しました。

と固めて、地域の隅々まで血液を循環させることが重要と思えます。農産物も含めて、地元で調達できるものは極力地元のものを活用していく方針です。

一方で明日への投資や戦略づくりも欠かせません。〇九、一〇年度の二年間の施策をマニフェスト手法による「戦略プラン」として全庁で練り上げます。

そして今年には新潟が二度の地震から見事に立ち直り、魅力いっぱい地域であることを国内外に知っていただく「大観光交流年」でもあります。越後を舞台にしたNHK大河ドラマ「天地人」を活用するとともに、新潟には他に比類ない「水と土の暮らし文化」があることを知ってもらうため「水と土」をテーマにした芸術祭も七月から半年間、全域で展開します。秋の「トキめき新潟国体」、十月から十二月までのJ.R.デスティネーションキャンペーンも行われます。この追い風を活かして、新潟を思いっきりアピールしていきます。今年もご協力よろしくお願いいたします。

平成20年度青山同窓会総会

現職員 小竹 聖一 (91回)

昨年七月四日(金)、同窓会総会がホテル新潟を会場に開催され、今回も出席者六百四十七名を数える盛会となりました。

総会に先立ち、本校吹奏楽部員四十四名による見事なマーチングが演奏され、出席者の皆さまをお迎えしました。

総会では富山修一幹事長(75回)の司会のもと、大滝祐幸校長の挨拶に引き続き、同窓会長の長谷川義明議長(61回)により滞りなく議事が進められ、満場の拍手をもって承認されました。

引き続き懇親会は、早川祐子さん

「流年」でもあります。越後を舞台にしたNHK大河ドラマ「天地人」を活用するとともに、新潟には他に比類ない「水と土の暮らし文化」があることを知ってもらうため「水と土」をテーマにした芸術祭も七月から半年間、全域で展開します。秋の「トキめき新潟国体」、十月から十二月までのJ.R.デスティネーションキャンペーンも行われます。この追い風を活かして、新潟を思いつきりアピールしていきます。今年もご協力よろしくお願いいたします。

また、会員券の半券を利用した「お楽しみ抽選会」が今回初めて行われ、当選者にはプレゼントが渡される等、大いに盛り上がりました。

歓談が最高潮に達した終盤に行田充さん(84回)らの指揮で恒例の「ますらお」が大合唱され、最後は風間士郎副会長(64回)による一本締めで無事に閉会、各期でまとまって二次会に繰り出していきました。



平成二十年度 東京青山同窓会総会

榎本 亜沙斐 (114回)

二〇〇八年度総会は平成二十年十一月十四日(金)、ANA コンチネンタルホテル東京にて開催され、46回卒から115回卒までの会員が集いました。

新潟からは長谷川義明青山同窓会会長(61回)、富山修一同幹事長(75回)、大滝祐幸新潟高校校長、そして横堀真弓校内幹事(91回)がご参加くださいました。

第一部は栗林貞一東京青山同窓会会長(59回)のご挨拶に始まり、卒業年次が上の会員の積極的な参加が呼びかけられました。



前列左から 栗林貞一(59回) 猪口孝新(70回) 西村正徳(72回) 日下部朋子(82回) 佐藤茂(77回) 池田一幹(74回) 前会長(51回) 左から 栗林貞一(59回) 猪口孝新(70回) 西村正徳(72回) 日下部朋子(82回) 佐藤茂(77回) 池田一幹(74回) 前会長(51回)

続いて日下部朋子事務局長(82回)から会務報告、佐藤茂会計幹事(77回)から会計報告が行われ、承認されました。また今回は、役員の変更も行われました。東京青山同窓会の新会長には70回卒の猪口孝先輩、新副会長には西村正徳先輩(72回)と太田裕先輩(71回)が就任されました。これに伴い栗林会長は名誉会長となられ、また、小林元雄副会長(61回)は退任されました。栗林・小林両先輩には、長い間ご活躍いただき、誠にありがとうございます。

ご来賓の長谷川会長からは次のNHK大河ドラマの原作『天地人』(歴史小説家、火坂雅志氏(83回)の著作)に関連した新潟市内の盛り上がりについて、また、大滝祐幸校長からは中国や米国を中心とした国際交流の進む学内の様子をお話しいただきました。遠路お越し頂き、ありがとうございます。また、新潟市東京事務所長・鈴木亨様(80回)、新潟県地域政策課の今井様からふるさと納税

制度についての説明もいただきました。木村和人先輩(90回)の司会で行った第一部が終わり、小林前副会長の乾杯で第二部の懇親会が始まりました。和やかな歓談を経て、恒例の「卒別出席者数コンテスト」が行われると、会場は熱気を帯びました。受付段階での出席人数は61回、64回、113回、114回が一列に並びという大混戦で、上位決定に際しては総当りジャンケンが行われるまでに。最終的な出席人数の多かった61回が一位、ついで64回、114回、113回と順位が確定し、それぞれ素敵な賞品を獲得しました。

その興奮も冷めやらぬ中、島津孝学幹事(84回)の主導で旧制校歌斉唱が行われ、続いて関佑樹先輩、丸山直哉先輩(ともに113回)が新制校歌の斉唱をリードしてくださいました。富所強哉先輩(46回)の元気なお声も非常に印象的でした。また、応援歌(星野紹英学年幹事・84回)やエール(西田善郎くん・114回)でも大きな声が響き、在学時代が思い起こされるひと時となりました。そして平成二十年

度総会は、池一幹事長(74回)の閉会の辞で締め括られました。一方、二次会でも卒回を超えて歓談が進みました。特に学生会員は諸先輩方の多種多様なお話を聞くことができ、青山同窓会におけるつながりの貴重さを改めて感じたのではないのでしょうか。

た。会はず、関西青山同窓会会長の渡辺操さん(66回)のご挨拶から始まりました。大阪に勤務された経緯など、自己紹介を交えてのお話でした。次に事務局の松本和彦さん(83回)より「関西青山同窓会会則(案)」のご提案があり、会員資格として第四条の4「……現在関西地方以外に在住している者で本人が引き続き関西青山同窓会に加入することを希望する者」という項目も含め、満場の拍手で承認され、ますますの会員の広がり

が予感される会則となりました。その後、内山準之助さんのご発声で開宴となり、どのテーブルでも、和やかな談笑が始まりました。若い会員の方は、面識のない先輩も多かったことと思いますが、立食パーティーです

で、あちらこちらから声をかけられ、楽しく過ごしているように見受けられました。会の次第に従いまして、風間副会長、石田副会長よりメッセージの披露があり、五回目となった「青山学術文化講演会」の様子など、母校の近況が紹介されました。現役大学生の紹介コーナーでは、関西で学ぶ四名が登場。知的関心や興味などについて自己紹介をしました。また、波多野庄英さん(65回)、丸山一敏さん(69回)からは、これまでの経験を活かしたスピーチを伺うことができ、青山同窓生が、各界各地で活躍

あるという認識を新たにいたしました。

関西青山同窓会

関西青山同窓会開催

現職員 本間 茂(88回)

平成二十年十一月二十九日

(土)、大阪・梅田の「大阪新阪急ホテル」で、関西青山同窓会が開催されました。58回の内山準之助さんから、昨春母校を卒業したばかりの116回の横田芽衣さんまで、実に幅広い世代の同窓生が集い、新潟より参加の風間士郎副会長(64回)、石田瑞穂副会長(67回)等、三十五

名の同窓会となりました。十八時三〇分、渡辺友昭さん(83回)の司会で開会。『月刊現代』十月号の「名門校ライバル物語 新潟高等学校vs長岡高等学校」の記事を紹介されたの進行でした。遠く新潟を離れていらつしやっても、アンテナを高く、母校を見守っています

らつしやる姿に感服いたしました。

た。会はず、関西青山同窓会会長の渡辺操さん(66回)のご挨拶から始まりました。大阪に勤務された経緯など、自己紹介を交えてのお話でした。次に事務局の松本和彦さん(83回)より「関西青山同窓会会則(案)」のご提案があり、会員資格として第四条の4「……現在関西地方以外に在住している者で本人が引き続き関西青山同窓会に加入することを希望する者」という項目も含め、満場の拍手で承認され、ますますの会員の広がり

が予感される会則となりました。その後、内山準之助さんのご発声で開宴となり、どのテーブルでも、和やかな談笑が始まりました。若い会員の方は、面識のない先輩も多かったことと思いますが、立食パーティーです

で、あちらこちらから声をかけられ、楽しく過ごしているように見受けられました。会の次第に従いまして、風間副会長、石田副会長よりメッセージの披露があり、五回目となった「青山学術文化講演会」の様子など、母校の近況が紹介されました。現役大学生の紹介コーナーでは、関西で学ぶ四名が登場。知的関心や興味などについて自己紹介をしました。また、波多野庄英さん(65回)、丸山一敏さん(69回)からは、これまでの経験を活かしたスピーチを伺うことができ、青山同窓生が、各界各地で活躍



同窓生訪問

ました。その後、新旧校歌の斉唱。同窓会には欠かせない「ますらお」とエールを、伊藤洋介さん(83回)の指揮で、参会者全員が「中学生・高校生」になり、喊声をあげ、会も終盤へ。近藤宏一さん(66回)の一本締めで、関西らしく賑々しいお開きとなりました。最後に出席者全員による記念撮影を行ない、瞬く間に二時間半が過ぎた印象でした。関西で催される、高校スポーツの競技の全国大会と言え、会に催されることと思います。

山内 春夫先生(76回)を訪ねて

(会報編集委員) 坂井 奈津子(96回)



山内先生を訪ねて、新潟大学医学部の法医学教室にお邪魔しました。「法医学教室」とは、犯罪が

野球とラグビー。甲子園近くにお住まいの方もおいでで、皆さん、母校の出場を熱望されています。その折には「ひとり十万や」と、大変頼もしい関西青山同窓会会員の皆さん。事務局松本さんのご尽力をはじめ、多くの方が支えられて、今回は節目となる第十回の同窓会でした。さらに、現役大学生の皆さんや若い関西在住の方が参加されることで、第二十回、三十回と盛んに催されることと思います。

楽しかったから。謎を解くという点で、数学と共通点があるようです。法医学向きの学生は？との質問に、「基本的に向き不向きはない。ただ、亡くなられた人や解剖が苦手な人はむずかしいかな。」とお返事でした。法医学に従事している人は全国で百二十九人と、少ないとのこと。新潟大学でも、十年間に一人でもこの道を目指してくる人がいれば理想的だそうです。どこでも、三々四人仕事仲間がいると活気が出てきていいのに、と話していらつしやいました。現在は、若手を一人育てている状態で、まだまだ先生のご多忙な日々は続くようです。

先生には、法医学会やその他委員会などの様々なお付き合いを楽しみ、お酒の席に変えてしまふ不思議な力があるようです。法医学教室二代目の教授で高浜虚子の四Sの弟子の一人でもある高野素十先生の時代から続く由緒ある俳句の会も、先生が参加されるようになってからは必ず句会後に酒席がつくようになったそうです。大改革です。今回ご訪問した際もお話を伺っているうちに却ってこちらが質問をされる程、お話し上手な先生ですから、お酒の席ではますます楽しいお話が聞けるのではないのでしょうか。

「医者に向く人とは、まず一番に人に対する優しさを持つていこと。これがないと、自分が医者になって苦労します。人づきあいが出来る、人の話が聞ける、聞くのが楽しい。これらが大切なこと」と、おつしやっていました。

また、医学部を目指す人は理系の人と思いがちですが、必ずしも、数学や物理といった理系の知識は使わずに、むしろ、生物の知識や患者さんとのコミュニケーションのための国語力の方が必要に感じられるとの事ですから、現在の受験の制度では理系が有利になっていますが、自分は文系だな、と思っている人の方が医学部に向いているかもしれません、ともおつしやっていました。

同期会報告

青山68会展のお手伝い

伊藤 洋子(68回) (久保田)



絵画、写真、書、工芸など一口はだしのベテランも異色の新人も五十点余りの作品がバランスよく並びました。さて、手厳しい批評にめげず、鋭い反論を投げ返し、何でもありのあの高校生の頃の文化祭のりです。しかも、上野の森美術館よりも先に展示された世界のアーティストの写真や、土台を作った友人から受けて、一年がかりで完成したモデルシツプ等、一つひとつの作品に物語りがあって、さすがに六十六才という人生の重みがいざしりと感じられました。一回で終わってしまうだろうと言われていたそうですが、五回展を迎えることができました。



(カットは伊藤洋子)

となりました。
折しも、「水川きよし演歌の会」と重なり、はなやかなおはさまち沢山の来場もあった初日でした。

夕方、気持ちよく晴れた初秋の新潟から新幹線で私は帰って

きました。ほんとうの楽しみは勿論、一週間後の反省会と称する呑み会であることにまぢがいありません。
十回、二十回とこの仲良し 8 会展が続いていくことを願っています。

安達太良山、茶臼山 トレッキング

岩原 修爾 (68 回)

68 回歩こう会の紅葉狩り登山です。二日で百名山を二山登る、という計画に元気な十名が参加しました。

雷鳴とどろく新潟をマイクログラフで出発したのが、AM 六時四十五分、二本松駅で東京から参加の K 君が合流して登山口に到着、九時三十分。雨も上がって空は青一色でした。ゴンドラ(あだたらエクスプレス)で着いたところが薬師岳(二〇六二m)で、目指す安達太良(一六九九m)の突起した山頂が目の前に迫っています。紅白を丸く重ねたペンキ印に導かれ、岩礫の斜面をひとつがんばりして全員無事に登頂しました。

昼食後、山頂に祀つてある「八紘一字」に手を合わせて下山です。かつて多数の犠牲者を出した

O 君とホテルで再会し、入浴、夕食、反省会、e.t.c.
二日目、再びマイクログラフで那須 IC から那須岳山麓へ、さ

すがに紅(カットは岩原修爾葉の見ごろ、平日ながら有料道路が大渋滞です。幹事の K 君の機転で渋滞の道を U ターンし、下の駐車場まで戻ってこ



安達太良山頂

から登ることになりました。予定より少し遅れましたがこの判断は大正解でした。渋滞で動かない車の列を横目にショートカットの登山道を二十分ほどで(那須ロープウェイ)に到着しました。規制なり案内表示なりが必要で、この有料道路には問題があります。

山頂駅に着くと、眼前に茶臼岳(一九一七m)が迫ってきました。ここが山頂経由と山頂を捲く道(牛ヶ首ルート)の分岐点になっていきます。先にある避難小屋で合流しますが、一行は始めて別行動をとりました。山頂へ向かうのは三名、M 君 W 君と I です。道はザラザラした火山質の砂礫で油断するとすべります。黄色のペンキマークに導かれてひたすら直登に息が荒りました。山頂は大小の石を無造作に積んだような、歩きにく

い岩場です。中学生の団体が福島なまりで、にぎやかに弁当を食べていました。
かすかに硫黄の臭いがする山頂から見下ると、小さく豆粒のように周回している仲間が見えます。
どこまでも無機質な岩場を下って避難小屋(峰の茶屋)で再合流です。「下りてくるのが見えたので待っていた」とのことでした。この茶屋は登山口方面と朝日岳縦走路との分岐点です。美しい姿の朝日岳を左に見ながら、ドウダンツツジやナナカマドの紅葉を満喫しました。振り返ると、茶臼山が黒々としたシルエツトを映し、斜面のすきが逆光に輝いていました。誰一人怪我也故障もなく、悠々と下りてきました。68 回生、まだまだ捨てたものではありません。

黒磯駅で東京に帰る K 君を送り一路新潟へ。バスの中ではサービス精神旺盛な K 君がオカリナで「ふるさと」や「北国の春」などを聴かせてくれたのにはびっくりでした。下山後の寂しさ、秋や黄昏時のむなしさ、人生の残り時間の過ごし方など妙な話題で盛り上がるのも歳のせい。それはさておき次はどこを歩こうかと思案中です。

参加者 久保田幸郎、小林 勲

ユニセフへの 募金活動

塚本 孝栄 (68 回)

山行日 二〇〇八・一〇・一五
〜一〇・一六

駒林進四郎、水本源弥、森田浩一、若林茂敬、飯利武志、加藤達雄、岡庭治行、岩原修爾
いた関係で、協力を呼びかけましたところ、二〇、一三二円の御寄付を頂きました。
先般、ユニセフより礼状、並びに感謝状が届きました。その文面には、インド、マハラシュトラ州のスラムに住む子どもたちの為に使われるとあり、68 回有志の皆様方に心より深い感謝を捧げるとありました。スラムに住む子どもたちの生活が少しでも向上し、役立つことが出来れば喜ばしい限りと思います。協力を頂いた有志の方々に、紙上をお借りして、御礼と御報告を申し上げます。

昨年二月九日、東京新橋、新橋亭におき、東京青山 68 回同期会が開催されました。

平素からユニセフ(国連児童基金)への関心を持っており、ユニセフからの基金箱も預って



青山 71 回同期会 「さんばち会」総会

中村 英一 (71 回)

五年毎の会が巡って来た。平成二十年六月十四日、新潟市内のホテル新潟。第 71 回同期会「さんばち会」である。夕刻の会場に懐かしい顔が見え始めた。程なくロビーに幾つもの人の輪ができ、談笑の音が響く。

開会前の語り合いで和やかさが生まれる。そして全員の記念撮影。
山内代表幹事の開会挨拶、次いで、遠藤久雄、小田一彦、瀧澤強一、三先生による乾杯の音頭で宴は始まった。もう後は皆さんにお任せだ。近況を確認し合う者、声を掛け合い杯を

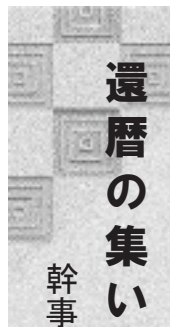


交わし合う者、他の席を訪ねる者、盛り上がりは一挙に頂点に達する。余興も何も必要なし。六十三歳及び六十四歳の「前期高齢者」達が一瞬にして「あの頃」に戻った。同期会ならではの得難いひとときである。今回の参加総数八十六人、男七十六人、女十人であった。初参加も多く、夫婦参加が一組（勿論ご両人とも同期生）あったことも嬉しい。

一方、黙祷を捧げた物故者が二十七人となったことは残念で

ある。心から冥福を祈りたい。二時間余にわたる宴は参加者の笑顔に満たされて終了した。ホテル内別室での二次会へ行く者、三々五々夜の巷へ出かけたグループなど心地よい余韻が市内各所に広がった。

今回は卒業五十周年の平成転であった。代表の山内幹夫君、事務方を背負ってくれた若林忠君、野沢正樹君、会場設営の川上紘平君、司会進行の中野久君、写真の滝沢諒君はじめ各位に感謝。



還暦の集い

幹事 富山 修一 (75回)

翌十五日にはゴルフ会を日本海カントリークラブで開催した。瀧澤先生と、女性二人を含む二十二人が参加し、好天のなか、ペリア方式により和気藹々のプレーを全員堪能した。優勝は山本俊介君。ゴルフ幹事は菅原宗人君と優勝した山本君の両人。幹事役がしっかりと締め括ったコンペでありました。

今回は卒業五十周年の平成二十五。古希を目前に控える歳となる。元気な顔での再会を今から願っている。

私達の青春は、入学間もなく起きた新潟地震、秋の東京オリピックと、印象に残らぬはずのない第一ページから始まりました。面白いはずのない受験勉強が楽しかったと思える昨今、これも時のなせる技なのでしょう。うか？そして深夜、オールナイトニッポンを聞きながら過ごした、自由で・甘酸っぱく・寂しかった大学生活。社会人になってからは山、坂、谷と幾度もの難関を乗り越え、ふと振り返って見ればだれもが他人事と思っていた還暦の歳。毎年『青山七五会』と称して集まりをやっ

ているものの、やはり六〇歳のケジメはつけようと、平成二十年八月二十三日に標記の会を開催しました。

まず沼垂の三社神社にて還暦厄除けのお祓いをして頂き、早速隣のホテル新潟の一六階で夜景を見ながらの会合となりました。幹事長の堀一君より趣旨説明ののち、恩師の瀧澤強一先生から「還暦の心得」を説いて頂き、続いて前幹事長の故福田実君のご夫人と同期の名簿管理者であった故下村成一君のご夫人からご挨拶を頂きました。乾杯の発声は今話題の武田鉄矢さ

ん主演の映画「降りていく生き方」エグゼクティブ・プロデューサーの清水義晴君。そして遅れてきた篠田昭君からは屈辱的な赤ベスト（ちゃんちゃんこ）赤ベレー帽（頭巾）事件の話をしてもらいました。

最後に、これからも機会ある毎に少しでもだけエネルギーを使つて会に出ましようと呼びかけ、中締めといたしました。

『青山七五会』は東京でも関西でも会を開いて楽しい関係を保っています。六十歳を境に勤務先や住所が大きく変わることでしよう。そして、これからの人生こそが同窓・同期がもつとも大切に思える時代になると確信しております。



季節は、確実に正確に厳しく、ひたひたと押し寄せてきます。団塊世代と言われる昭和二十二～二十四年生れの最後の年となる我々も還暦を迎えようとしています。収容能力を超え多くの大学浪人が発生し、現役と浪人で超難関となった大学入試を乗り越え、入社試験を受けるだけで五千円の手当、内定書にサインをすればハワイ旅行や一流ホテルのフルコースの招待など、空前の売り手市場の入社と山有り、谷有りの人生でした。子供の頃は、丸い折りたたみ食卓の「ちゃぶ台」で、数ヶ月の月給を払って買ってもらった白黒やカラーTVを家族全員で見ている当時から考えると夢に描いた様な生活を送っています。でも本当に幸せになったのでしょうか。夕方になると「お晩です」と近所や親戚の人が訪れ、煩わしくもある濃密な人間関係は、結婚式や葬式でしか顔を合わせなくなつた親戚へと変化を遂げました。そんな中、同じ教室で同じ先生から学び、喧嘩を

青山76期卒業四十周年懇親会

旧三年四組 斎藤 栄路 (76回)

し、悩んだ者同士が、十年ごとに顔を合わせる同期会は、自身が過ごしている今と過去を結びつける最高の時を過ごせる時間だと思っています。76期は卒業から今まで十年ごとに同期会を行い、三十周年では新潟と東京で別々に実施しました。今回四十周年は新潟では、昨年十月十八日(土)にイタリア軒で行いました。二月八日には東京でも実施予定です。同期では把握しただけでも二十四名が逝去されていました。遠くは北海道、九州から駆けつけて頂き恐縮の





新潟高校90期同窓会 平成20年(08)10月12日 新大井ホテル

新潟高校90期同窓会

「今、ここに在る、
かけがえのない師と友たち」

歌代 幸子 (90回)

至りなので酒と一緒に飲むだけでなく楽しめる同期会をと、高
校生当時の写真を貼り付けた名
札を付けてもらい現在と高校
生当時との余りの変わりようを
見てもらい、パワーポイントで
逝去者の写真を一人一人紹介し
ながら偲んでもらいました。ま
た出席者の個人写真とクラス別
写真を映写しました。青陵祭な
ど当時の写真を持参して頂きス
クリンで思い出を共有し、校
歌で連帯感が高まりました。先
生から五人が出席し模擬授業や
卒業当時の贈る言葉が録音され
たソノシートで希望溢れた高校
時代に戻った時間をすごしまし
た。

不惑の年、四〇にして、い
きなり始まった90期同窓会。
一八〇人以上が参加した第一回
生は、「これだけ出席率の良い
会は今まで初めて」と
舌を巻く。

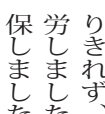
なにせ幹事の企画も
圧巻だった。『映像で
振り返る青春時代』を
メインテーマとし、二
年次に文化祭で製作し
た映画から、三年次の
青陵祭までの秘蔵映像
が巨大スクリーンに。
校舎内に保管されてい
た膨大なビデオから、
幹事が丹念に探し出し
てくれた貴重な青春
の記録である。懐かし
のヤミ作業から連合創
造、破天荒な映画のシ

ーンに、一同、目を奪われ
てしまったのだ。
あの頃の躍動感やエネル
ギッシュな団結力、誰も
が、はじけるような個性を
発揮していたよなあ・・と、
ちよつぱりセンチにもなる
が、いえいえ、その個性は
今なお健在だ。この新潟高
校を巣立ち、広い社会に出
て、それぞれの道を歩ん
できた仲間たちの話は、こ
れまた実に刺激的なのであ
る。
さらに、生徒と語らう先
生方の笑顔も変わらない。「僕
ら職員もすぐく仲が良くて、チ
ームワークが良かった」と振り
返る上村先生。当時はよく飲ん
で、よく歌って、暇さえあれば
職員旅行へと。なるほど、その
結束力が、私たち生徒を見守る、
厳しくも、温かなまなざしにつ
ながっていたのだろう。



「どんな学年でしたか？」と、
柴野先生に尋ねると、「ちよつ
と説明ができない！」と腕を組
む。とにかく個性豊かで、発想
もユニークだったという教え子
たち。それぞれが各界で活躍し、
絵描きや教授、「僕の主治医も
いるよ」とほほえむ。

二時間半にわたる同窓会は、
本当にあつという間に時が過
ぎ、最後はやはり「丈夫(ます
らお)」で締める。その瞬間、
身体芯を走る緊張感がたまる
ない。そこには、紛れもなく高
校の頃のままの友たちが集つて
いた。
また、日常の日々に戻れば、
仕事や子育て、そろそろ親のこ
とも気にかかる四〇代半ば。不
惑どころか、惑いばかりの年代
だ。でも、ここに帰れば、変わ
らぬ仲間がいる。それが、これ
からの道を生きる礎にもなるの
だろうか・・。そんな思いにひ
たる同窓会の日だった。



90期同窓会は平成二十年十月
十二日オークラホテル新潟で開
催された。

実は、こんなに大勢、出席が
あるとは考えてもおりませんで
したので、当初の案内会場に入
りきれず、急遽、会場探して苦
劳しましたが、何とか会場を確
保しました。今思えば、その苦
労もありがたい喜びでも
あります。
今回は、若い人たちが
たくさん見えましたが、
古い回期の卒業の方が相当お見
えのようで、嬉しい限りです。
どうしても年齢を重ねることに
社会的責任も増し、なかなか同
窓会への出席もままならなくな
りますが、卒業後、歳月を経る
ほどに、母校への懐かしさが増
してくるような気がします。今
回、出席できなかった方々も、
母校と、当時の仲間達を懐かし

通信制課程の閉課程から三
年、この辺りで一度懇親会を開
催されてはどうかと、多くの同
窓の方々よりお声があり、久し
ぶりに開催することになりました。
平成二十
年十一月八
日(土)、
チサンホテ
ルで開催さ
れたが、当
日は、当初
の予想人数
をはるかに
越え、旧職
員十八名、
卒業生百十二名の出席者でし
た。このように沢山の方々に
席を戴き、幹事一同、心から喜
んでおります。



通信制コーナー

通信制部会懇親会の開催

笹川 薫 (通37回)

く思い出されていることと思
ます。

懇親会は三年ぶりということ
で会場は思い出話で、閉会の時
間を忘れるほど、大いに盛り上
がりました。

卒業以来、何年も会わずに、
それぞれ異なった仕事に進んで

も、それがこの会で顔を合わせ
ると、最初は、「だれだったか
な」とちよつと思ひ出しそう
で

いながらわからないのですが、
ひとたび名のりあうと、たちま
ち「やあ、どうも」となつて、

肩をたたいたり、中には「なん
だ、おまえか」なんて、何十年

過ぎて、「おい、こいつ、お
まえ、おれ」で、昔に返つて話
し合える、そしていつのまにか
幼い顔に戻つて時を過ごす同窓
会は、確かに若返りの奇跡の場
所なのだと思ふのです。そして、
エネルギーの泉なのだとも思
います。

同窓とは不思議なもので、初
対面の間柄であつても、母校を
介して百年の知己となることも
珍しいことではありません。

ぜひ、次回も年齢を超えて新
たなご交情を多くの方々と結ん
でいただければ、こんな嬉しい
ことはありません。

最近の青々会活動報告

樋口 聡 (94回)

青山同窓会の比較的若い層の
懇親を旨として始まつた青々会
も、昨年で活動六年目を迎えま
した。今回は最近行われた二つ
のイベントについてご報告いた
します。

平成二十年十月十八日(土)、
本多孝さん(94回)が経営する
ワイナリー&レストラン『フェ
ルミエ』にて、「デザイナーとワ
インを楽しむ会」が開かれまし
た。場所は弥彦山も間近い越前

浜、カーブドッチに隣接しブド
ウ畑が面前に広がる絶好のロケ
ーションです。
新潟市中心街から貸切送迎バ
スに揺られること四〇分と同所
に到着。今回は青山OBのみで
なくその家族や友人も多数参加
して、和気藹々とした雰囲気
の中でフェルミエで作られたワイ
ンを堪能しました。
料理もレストラン内に設置さ
れた石釜で焼かれるピザやパス

タ、イペリコ豚のソテー等絶品
で、参加者二〇数名大いに満足
しました。午後八時過ぎには再
び全員送迎バスで新潟市内に戻
り、市内某所にて大いに盛り上
がつて二次会を開催した次第で
す。
フェルミエでは送迎バスを利
用した新年会フランチを格安で提
供するとの由。ご関心お持ち
の方はホームページをご覧下さ
い。



原さん厳選の美酒やホテル直送
の料理、そして和やかな会話を
楽しみながら見る朱鷺メッセや
万代美術館のライトアップされ
た夜景も「なかなかの風情・・」
と一同実感した次第です。
ウオーターシャトルでも新年
からデザイナークルーズや船上新
年会等、各種プランを取り揃
えている由。ご関心おありの方
はホームページを参照して下さ
い。

第 26 回青山ゴルフ会 「71 回卒」四度目の優勝

中野 久 (71 回)

「優勝のニオイがするね」
ホールアウト直後、我ら71回卒
組、にやにやと頭を寄せ合う。
豪快プレーの熊倉哲君(やつ
ぱり君が頼りだ)、シャープな
ショットの山本俊介君(憧れる
ね)、距離方向緻密な菅原宗
人君(君には頭が下がります)、
そして、ボールの行方は気分次
第(?)の私中野。バランスの
取れた四人組、和気あいあいと

：緊張感はあるでなく、いつも
ながら仲間ついでいなあと感じ
る青山ゴルフ会である。
プレーを終えてのスコア確
認、「お前いいんじゃないか?」
「うんうん、イケるねえ」互
いにツツキ合いながら、いつしか
高校時代に戻っていた。
果たして予感の中。71回卒は
見事四度目の団体戦優勝。個人
戦は優勝・熊倉哲君、三位・山
本俊介君。
大部隊で挑む79回卒軍団と少
数精鋭71回卒による「連覇攻防
戦」がここ数回続いていたが、
今回はライバル不調。大先輩
「60期以前チーム」にわずかの
差で勝たせていただいた。

次回も抜群のチームワークで
臨みたい。今度こそ連覇……
イヤイヤ……不言実行！次回もお
楽しみに。
●個人戦優勝：
熊倉哲(71回)
グロス82(ベスグロ)
ネット71・2
●団体戦優勝：
71回卒
ネット合計226・6

OB会報告

青山サッカー部OB会便り

相場 恵美子 (89回)

89回若杉俊則事務局長の命に
より僭越ながら青山サッカー部
OB会のご紹介をさせていただきます。
今年度の夏のOB戦は、去
る八月十六日新潟高校グラウン
ドにて行われました。近年は現

【第二六回青山ゴルフ会報告】
平成二〇年九月二十一日(日)
阿賀高原ゴルフ倶楽部
年齢を感じさせないプレーを
展開する「60期以前」チームか
ら、さわやかなショットで先輩
達を羨ましがらせる「94期」ま
で、総勢四十六名参加。
小雨まじりのスタートだった
が天気はすぐに回復し、楽しい
一日でした。



『青山ラグビー祭』

IN 鳥屋野運動公園球技場

小見 毅 (92回)

今年度も恒例の『青山ラグビー祭』が、夏も真つ盛り(二〇〇八年八月十日(日))に行われ、OBの皆さんと現役高校生部員たちとで交流をはかりました。

いつもは新潟高校のグラウンドで交流試合を行うのですが、今回は何と鳥屋野球技場で試合を計画しました。鳥屋野球技場といえば新潟県の高校ラグビーのメッカであり、私たちの時代

役時代の異外遠征と日程が重なり、現役との交流試合もままならないことが多かったのですが、今年度からサッカー部顧問に就任されました永井啓介先生のご配慮で、北海道遠征から戻ったばかりの現役が参加してくれました。現役時代の永井先生を知るOBもおり、和やかな

雰囲気の中、交流試合でもOBに花を持たせてくれたようです(大丈夫かな、現役...)。OB戦の後は、篠田旅館(73回篠田孝氏)に会場を移しての懇親会で、新潟のサッカーについて熱く語り、「丈夫」で散会となりました。青山のOB諸氏は、後進の育成や協会の仕事ももちろん現役選手!、など様々な形でサッカーに係わっている方が多く、お話を伺っているととても興味深く、勉強になります。二十代OBも増えてきましたので、参加者の年齢層もずいぶん幅が広がりました。卒業生の方、在校生の方、今夏はぜひグラウンドをのぞいてみてください。青山サッカー部OB会についてのお問い合わせは若杉 wakatum@crux.ocn.ne.jp までお願いいたします。

では公式戦ぐらいしか使うことになかった場所です。昨年から人工芝に改修され、とても使いやすいグラウンドになっておりました。それならば青山ラグビー祭をそこでやっちゃおうという企画になったのです。参加していただいたOBメンバーは三十数名、上は第58回卒業の歌代先輩から下は昨年卒業した野澤君まで、現役との真剣勝負に挑んでいただきました。保護者の方々も観戦にいらっしやう、交流戦を見守っていただきました。

当日は八月の炎天下でしたが、顧問の押木先生のご協力を仰ぎ、高校生の手を借りて会場の準備もスムーズにすすみ、あとはキックオフを待つばかり。今年度の三年生は春の高校総体で四強に入り北信越大会に出場、惜しくも敗れましたが、花園を期待させる戦いぶりでした(この原稿を書いている時点では、残念ながら準決勝で優勝した新潟工業に敗れてしまいました。健闘に拍手!)。その三年生が多数残り、OBとガチンコ勝負ですから緊張感の高まります。試合は一進一退の攻防となり、僅差で若手中心のOBチームの勝利となりました。見ているこちらが熱くなってくるような魂

青山体友会の集い

中川 弘 (58回)

秋晴れの昨年十月十三日、円いテーブルに十ヶの椅子が並ぶ新潟シルバーホテルの一室、38回の近藤圓氏の乾杯の音頭で第二十二回青山体友会は開かれた。一人一人近況が報告され、各々の人生の歩みはちがっても体操をやったよかったという想いは共通していた。体操によって知らされた継続力、集中力、瞬発力、思考力に協調の精神がいかに人生に役立っているかが感じられる。何十年たっても肉

体の隅々に若き日の体操の片鱗



2008.10.13

が感じられる。最長老の近藤圓氏の衰えもせぬ記憶力に驚嘆しとききほれる。同じ学校、同じ体操部に属していただけで、こんなに兄弟になれるものなのですね。時のたつのも忘れ、酒の味も一段とおいしく感じられる。恒例の53回渋谷興司氏の手品の教室にアツと驚く。爆笑の中で時は流れていく。昨年より、新潟に引越してきた同期の阿倍豊氏が参加され一段と賑わいを見せる。彼は過去の華々しい成績以外に、バラに深く関与され、その方面でも有名である。一年下の59回中野文郎氏、江口昌男氏と共に新潟大学体操部で活躍した。今は母校に体操部がないのは何とし

ても寂しいが、これも時代の流れか。いたしかたない。好きこそ物の上手なれ、体操を愛し、体操に惚れ、体操の毎日を送った昔がなつかしい。鉄棒、平行棒、吊環、鞍馬、徒手、跳馬と六種目のいるんな技を毎日よくやったものだ。新しい技の出来た時の快感は買ったものでなければわからない。一日中頭の中は体操でいっぱいだ。こうすれば、あゝすればと



大好評 水泳部合宿を激励する会

栞山 純 (62回)



何が大好評かといってまず挙げられるのは、新潟高校水泳部が、合宿地関川村でも評判になっているということです。部員のマナーが良く、地元小学生スイマーにも優しく指導をしてくれると大いに喜ばれているらしく、関川村教育長からはぜひ来年も期待されているのです。その上、周囲の村人からは、ぜひウチの婿に、嫁にと若い部員たちも目をつけられる有様。それもそのはず、現役の部員男子はイケメン、女子はスタイル抜群の美形揃いときています。一方水泳部員にとっても、聖荒川を望む緑豊かな環境の中で、のびのびと融和感を楽しみながらも、三日で二万メートルという泳ぎ込みもこなし、十分成果をあげることができたと大喜び。普段の練習は学校のプールで一緒にやっているわけではなく、それぞれ学外のいくつかのスイミングクラブに所属して、別々に泳いでいる部員も多いということですから、全員揃って合同練習する機会は少ないらしいのです。そして昨年八月一、二、三、三日間の合宿打ち上げには、青山水友会御用達、丘の上の温泉旅館の心地よい園地で、現役部員や彼らを支える諸先輩、関係者入り混じっての大親睦バーベキュー大会が催されるので、参加者すべ

てにとつても大好評ということなのです。昨年で三年目を迎え、既に恒例化した感のあるこの夏のイベント「現役部員を激励する会」は、青山水友会大黒善彌会長(50回)を筆頭に、江口良助幹事長(61回) 采配の下、平田大六関川村長(60回)の行き届いた現地受け入れ手配という、願ってもない強力ラインと、今や中期高齢者となった横瀬功事務局長(66回)の懸命な働きに



フエンスィング部 OB懇親会報告

石原 基規 (88回)

よって実現されていることなのです。真夏の関川村に、昨年は現役部員十八名と顧問の先生二名、それに駆けつけた大先輩、中先輩十一名が集い、いつにもまして賑やかに楽しんだものです。みんなで声を張り上げて歌う部歌や応援歌は、あたりの山々にこだまして、現役部員もたっぷり活を入れられたに違いありません。インターハイに二人の選手を送り出しました。

平成二十年十月十八日(土)、古町安兵衛にてフエンスィング部十六名の元精鋭が集まり、懇親会を開催しました。まず始めに、加藤高弘会長(58回)が挨拶されました。聖籠町総合体育館で平成二十年十二月十日から四日間、第61回全日本フエンスィング選手権大会が開催され、同大会は今年開催予定の第64回国民体育大会のリハール大会とのこと、加藤会長からは、大会進行の役員として協力することを求められました。次に北村富士雄先輩(61回)

二十年度 青山柔道部OB会総会

立川 克雄 (72回)

が乾杯の音頭をとりました。北村先輩からは、もつとみんなが参加しやすい日を選んで開催するように苦言を呈せられました。今年には創部六十周年とのこと、私は高校を卒業して来年で三十年目、丁度中間になりました。私たちの前後の世代はほとんどOB会皆勤で、毎年みんなに会えることを楽しみにしています。今年からは、若い世代が同期同士が誘い合って参加できる会にしていきたいと思えます。

恒例の青山柔道部OB会総会は、平成二十年十一月十五日(土)六時、今回から東堀通八、ホテル金寿二階「海鮮亭羅言」(女将が91回の風間まゆみさん)に会場を移し開催されました。開会のあいさつの後、東京青山柔道部OB会長の佐藤信秋さん(参議院議員・74回)、来賓の青山同窓会副会長の石田瑞穂先輩(67回)のごあいさつ、会計等報告、母校加藤監督からの活動状況の報告の後、杉山静也先輩(48回)の音頭で声高らかに乾杯し懇親会が始まりました。後は例年のごとく、48回から113回まで全く隔たりもなく楽しく飲み、語り



田村正一さん(73回)の死を悼む

平成二十年八月二十三日、長く柔道部OB会の運営のみならず現役選手の面倒を見てもらっていた田村正一さんが心不全状態から血圧低下が進行し誠に残念ながらお亡くなりになりました。日ごろから田村さんには尊敬の念を持っていたところで、二十六日の通夜で主治医でもある新潟大学長、下條文武様の弔辞をお聞きし、改めて田村さんの偉大さに感服しました。

田村さんは昭和四十七年から腎不全で人工透析を三十六年間続け、その間、新潟県腎臓病患

者友の会設立、同会の会長、全国腎臓病協議会の要職などを務め、透析治療の充実と腎移植医療の普及にも積極的に取り組まれ、新潟県のみならずわが国の透析患者に大きな励みと勇気を与えてくれました。

また、社会生活自立支援事業が目的であるNPO法人ポレールの立ち上げ、小規模福祉作業所オーブンなど意義ある福祉活動に身を投じ、事業を展開されてこられました。

今、田村さんの偉大さを改めて感じると同時に青山の暈の上で一緒に汗を流した仲間として心から誇りに思っております。

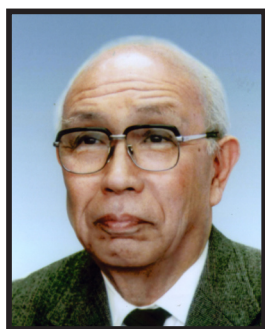
田村さんのご冥福を心から祈りいたします。

石井 太一 (115回)

山でのOBとの交流と高校生

毎年九月第一土・日曜に、山岳部OB登山が行われています。簡単にいえば、現役の部員とOBの方々の交流会なので、三年生の最後の登山でもあり、追いつき山行とも呼ばれます。毎年、OBの方は二十人ほど集まります。一日目の夜は、小屋で交流会を開き、二日目に南魚沼市にある巻機山を登りま

す。夜の交流会では、現役生はOBに対して自己紹介をし、OBは一人一人現役生に対して言葉贈ります。そこで僕は(去年もそうだったのですが)、改めてOBの人の凄さを思い知らされるのです。



追悼

阿部正先生を偲んで

三年F組 高木 睦弘(64回)

のです。現役の時、正直OBの方の話はあまり理解していませんでした。卒業してから僕も成長したのか、OBの方々の山に対する『心』みたいなものをひしひしと感じ取れるようになったのです。また、僕にも生きる道標を指してくれるのです。他の人からはどう見られて



るのかわかりませんが、意外と山岳部は厳しい部活です。途中で退部する人も何人か出てきます。ただ、今の現役生には三年間最後まで続けてほしいと願っています。僕と同期は、自分を

含め七人いますが、卒業してから何回か集まっています。その時、いつも高校時代に戻りたいと思ってしまうのです。辛いこともあったけど、今思うととにかく楽しい思い出が残っていないのです。こういう気の合う仲間ができるということもそうですが、山に登った記憶というものは今になっても薄れていない。これからは三年間山岳部で過ごした記憶は無くならないと思います。

が、御高齢ということもあり、午後七時に息を引き取られたという事です。

先生は昭和十九年に旧制新潟中学校に赴任され、昭和四十八年三月に新潟高校を定年退職されました。その後新潟市歴史博物館で池政栄館長の下、新潟市史の編纂に携わられました。北陸地建発行の「信濃川百年史」や、「行く先々に水ありき」と題して、水道局の局報に、平成三年まで水道史の執筆を重ねられました。これまでの調査をまとめて「もつと知りたい故郷関屋」と題して、関屋地方の産業や文化を郷土史講座で語られました。

来てみれば壇上に光る禿げ頭、さながら地上の初日の出、空飛ぶ雲雀も眩しかる」と磯幸次郎校長先生を歌ったのに対し、「口ツキー山脈ナイヤガラ、見てきたようなことをいう雲をつくような大男」と阿部先生を歌い、私達は先生を「雲さん」とお呼びしたのです。

私達64回生三年F組は、昭和三十年九月大黒山平先生のご栄転のあと、三十一年三月まで阿部先生に学級担任として受け持たれました。やんちゃな私達を受け持たれた先生のご苦勞は並大抵ではなかっただろうと推察申しあげる次第であります。

平成二十年七月十一日、恩師阿部正先生が逝去されました。享年九十五才、心不全ということでした。ご遺族によりますと、午前七時頃、ご自宅で呼吸が苦しいと言ひ出され、救急車で運ばれて手当てを受けられました

昨年十月四日に阿部先生を偲ぶクラス会が開かれ、十三名の同志が集って先生を追悼申しあげたのですが、まず話題になったのは先生の渾名でした。当時予餞会で「可愛いスーチャン」または「練鑑ブルース」の節で「新潟高校に



竹馬の友、異才小黒昌一 (62回)

の急逝を悼む

河野 開 (62回)



小黒昌一さん (一番右) 記者 (左から2番目)

なつた。通夜・葬儀の会場に「新潟高校野球部OB一同」の花輪が飾られた。

小黒昌一は三月まで現役の早稲田大学文学部教授「古代・中世文学」、四月に退官して、名誉教授に成ったばかりであった。今、手元に「尚古堂春秋」「むべの暮敵」「タンポポの詩」「実践ビジネス英語教本」「すぐ使える英語スピーチ99」がある。前記三冊は軽妙洒脱の小説エッセイである。僕は遅れて来た大文豪と賞賛した。彼のもう一つの顔は、州立ワシントン大学・スタンフォード大学の客員教授です。日本の大学で米人が古典を講じると同じで、凡人には到底想像出来ない驚異の才能である。平成二十年十一月四日、一代の異才は心不全で亡く

「一回で良いから、母校の野球部が甲子園に出場して、スタンドで応援して、校歌を歌うのが、野球部OBの俺の見果てぬ夢だ。」昭和二十七年の県大会に優勝して北信越大会の決勝で松商学園と対戦して敗れた。二年生の小黒はレギュラーでレフトを守っていた。野球部の歴史でこの年が最高の戦績であった。小黒の見果てぬ夢は、僅く十一

月四日で終わった。お互いに一年生か二年生の夏休み、古町七の商店街に雇われて、新潟祭の子供神輿の先導で、笛や太鼓も賑々しく、後棒、先棒になって、白山神社に参詣し、中心街を練り歩いた事がある。小黒は万病を患った。五十代の頃から発症した喘息発作で苦しんでいた。ある日我が家に訪ねて来た。河野、頼むから、田中町か二葉町の車が入り込まない空気の綺麗な所で、予算三千万以内で家を探してくれや！とても、苦しくて東京では暮せない。新幹線で早稲田に出勤する心算だ。昌一は帰郷する度に共通の幼馴染が経営する日和浜の「二葉亭」という浜茶屋で寝転んでるか、堤防で魚釣りをして過ごした。河野、釣れねつけ、お前泳いで、魚を寄せてくれや、彼はいつも新潟弁丸出しであった。

尚古堂春秋を最初に紹介したのは、当時、読売新聞副主筆として夕刊で「よみうり寸評」を担当していた同期の永井梓である。限られた紙面の関係でコラムの中身は書けないから、表題と一節だけ紹介する。「飄逸な味、小黒昌一著「尚古堂春秋」(流れてやまぬ時の流れはとめることは叶わぬまでも、いまま

しゆるやかな流れに身をゆだねてみたいもの)——そんな話し声が聞こえてくる骨董屋の店先、間口三間、十一坪「尚古堂」は店主今関悟堂の交遊の場だ。本の帯には道具屋の小上がりで知る浮世とあって、目次は顧客珍客・炎の鳥・大蛇の絵・電気ブラン・干し柿の味・満漢全席・オシドリ羽の羽・やま路来て・ひねもすのたり・陶々亭異聞・麗人・川柳みだれうち・縁は異なるもの味なもの・十一坪の春・球追えど・故郷の息吹。一章一章が読み切り落し話で落語になりそうな、軽妙な人物描写で飽きさせない。作品社でまだ人手可能です。是非一読を！

務めました。僕は訃報に接した時、嘘だろう、と、想うと同時に、彼が苦しんでいた喘息発作が元凶となつて次第に体力が弱つていたのでと想いました。帰郷の時の彼は下駄履きで自転車に乗って、「尚古堂春秋」に登場する「尚古堂」に入り浸つて時を過ごしたようです。モデル名の店主・今関悟堂氏は実在の人物です。生前の田村誠一は一回だけ同行して紹介された事があると話してました。

僕に通夜の席に弔電を打った。「昌一さん、新潟祭懐かしいね、又、日和浜で逢いたいね、もういいから、休んでいいんだよ、安らかに！」天国の二人、田村誠一も小黒昌一もいつの日か新潟高校が甲子園に出場する日を夢見るだろう。

あとがき
僅かに一年前の事である。平成十九年九月三十日、ホテル・オークラでの62回生卒業五十三周年同期会に小黒昌一は元気に出席した。二週間後の十月十三日、東京の代々木倶楽部での二葉中学校在京同期会では幹事を

特別寄稿

青山同窓会総会 実行委員長に就任して

栗原 道平 (82回)



込むことができるか悩ましくも思うこの頃です。

と言っても、実行委員会メンバーは、近年急速に優秀な若手の人材が台頭してきました。皆さんが委員長を支えてくれるものと確信しておりますので、より多くの同窓生に出席していただき、楽しかったねと言っていただけの総会となるよう、あまり緊張せずに臨むことに致します。平成二十一年の青山同窓会総会は七月十日(金)の十八時からANAクラウンプラザホテル新潟(旧ホテル新潟)で開催の予定です。皆さま奮ってご参加下さいますようお願い申し上げます。

の役目だ。

グローバル化に則した教育を行う県立大学を目指す。県立大学の幕明は始まった。



2. 南場智子さん講演

① 会社の概要

1 インターネットオークションをする会社として 99 年に創業した。02 年までは赤字が続いたが、その後黒字となり 05 年東証マザーズ、08 年東証第 1 部に上場することが出来た。

1 モバゲータウンは現在 1200 万人のユーザーを持つ。

その他にも、ポケット（モバイルネットワーク）、ビッダーズ（モバイルショッピングモール）、モバオク（モバイルオークション）、などのサイトを運営している。

モバゲータウンは、コミュニケーションをとったり、日記を書いたり、小説や歌を発表したり、ゲームをしたりするサイトであり、1日6億ページビューある。（ミクシィは3億、ヤフーは1億）モバゲータウン小説大賞を設けた。音楽もモバゲータウンオーディションを行っている。モバ友からスターが出る。1億総クリエーター時代であり、この発信文化が日本の競争力に他ならないと思う。

② 健全性を保つために

1 モバゲータウンを健全に保つために、本名禁止、写真・電話番号掲載禁止、サイト以外での出会いの書き込み禁止など規制を厳しくしている。10代の会員の割合が少なくなってきたが、それでも現在17歳男性では日本の全人口の70%がユーザーになっていて、10代に大きな影響力を持っている。

1 出会いにつながる書き込みは禁止しているが、1日1000万の書き込みがある。今年は8億円かけてシステム的に書き込みができないように対応しているが、隠語で書き込みをしてくる。それを防ぐために監視と様々な相談に応じるサポートセンターを、この春新潟市に150人規模で設置した。300人規模が東京にあるが、新潟を増やしたい。

1 昨年の12月、総務省は携帯にフィルタリングをかけるよう、特に青少年にはかけるよう要請を出した。

書き込みのできるサイトはすべてこの対象になる。こうなると健全なサイト運営に努力しているところもそうでないところも同じ扱いになり、企業が努力しなくなる。

その後、努力しているところは第三者機関による認定を出しフィルタリングから外してもらうことになった。同窓の吉田六左エ門先生が尽力してくださった。

③ 起業の苦しみ

1 売上は02年9億円から07年297億円、経常利益は02年△2億円から07年128億円と成長したが苦労の連続だった。

経営コンサルタントとして様々な提案をしていたが、自分も現場で事業をしたいという思いに駆られて起業した。創業から4年間は赤字で、その間は財務、人事、戦略、システム開発などフルコースの失敗だった。やってこれたのは仲間にも恵まれたからだと思う。

1 立ち上がりに信じられない大失敗をした。「ビッダーズ」というオークションサイトを日本で一番早く立ち上げる準備を進めていたが、頼んでいた会社のシステム開発が進んでいなかった。結果としてヤフーに先を越された。やっと出来上がったシステムも不完全な状態（入札できるが出品できず）でスタートせざるを得ず、15分に一回システムがダウンすることもあり、事務所でコンピューターを両脇に置きながら寝泊まりすることもあった。

④ これから

（株）ディー・エヌ・エーは利益を上げている。つまり価値を提供している。しかし、国際化していない国内相手の会社だ。今後は、世界を相手に勝負したい。新しいアイデアを仕事につなげたい。モバゲータウンも「one of them」にしたい。

報告者あとがき

猪口先生の講演は、ユーモアあふれる語り口から笑い声が何度も起きるほどで、楽しく拝聴させていただきました。先生の心構えは「何事もやってみなければ分からない。やれば景色が変わる。」とのことであり、反骨精神多大なりと感じました。県立大学の堂々たる船出をお祈りします。

*アジア世論調査の詳細は「アジアグローバル」で検索して下さい。

南場さんは（株）ディー・エヌ・エーの社長として、同社の歴史やモバゲータウン（モバイルポータルサイトおよびSNS）のことなどを、我々同窓生の情報化ぶりを意識してか、分かりやすく講演してくださいました。

起業→東証マザーズ上場→東証第1部上場という絵にかいたようなサクセスストーリーが聞けると思っていたが、意外や意外、現在に至るまで失敗の連続、かえって親近感を持った次第です。DeNAの更なる発展を願います。



第 5 回 青山学術文化講演会開催報告

若林 孝 (78 回)

昨年 1 月 15 日第 5 回青山学術文化講演会が、新潟高校視聴覚ホール (400 人収容の階段大教室) で開催されました。

今回の講師は次の方々です。

1. 猪口孝さん (70 回)

中央大学大学院教授、東京大学名誉教授、

平成 21 年 4 月開学新潟県立大学学長 (予定)

演題 「子供に伝えたい徳目ーアジア世論調査から見た」

2. 南場智子さん (89 回)

(株) ディー・エヌ・エー代表取締役社長

演題 「株式会社ディー・エヌ・エーの歴史とモバゲータウンのサービスについて一健全性維持への取り組み」

以下、それぞれのご講演について要旨を報告します。



1. 猪口孝さん講演

① 調査の始まり

1 2003 年にアジア世論調査をしようとした時、同僚等からは金がかかるし自由で民主的な国でなければ政治的理由で調査をさせてくれないだろうと言われた。

それはそれで、中国で政党はどのくらい信頼できるかはなかなか聞けない。だから困る質問は除きます、聞きませんという原則を立てたら、ベトナム、中国、ラオス等を含めて、要請したすべての国で OK だった。

アジア世論調査は、(これまでアジアで行われた最大の世論調査で) 東チモール、北朝鮮を除き 29 カ国で行っている。

1 調査の資金集めが大変だった。30 社位リストアップして紹介なしで電話して訪問した。1 社 3~4 回は訪ねた。大企業で 3 万円あり。大きなところでは 600 万円あり。結局 2000 万円集めた。

やってみなければ分からない。資金も集めた。政治的障害も意外と少ない。タダだからしてくれとなる。「自分が一步前に進めば景色が変わる。道は開ける。」

② 調査の結果

1 Q: 人は信頼できるか

A-1: 大体信頼できる。

A-2: 注意するに越したことはない。

A-3: 分からない。

信頼できるが多かったのは、韓国 63%、中国 61%

注意するに越したことはないが多かったのは、ベトナム。

日本は半々くらい。

1 Q: 許可申請をしたら、「待っている」と言われた。どうするか。

A-1: 賄賂をやれ。

A-2: コネを使え。

A-3: あきらめる。

A-4: 待つ。

A-5: 手紙を出す。

A-6: 勝手にする。

賄賂を贈るは、ある種の国では答えることができない。答えると警察などが実際に来る可能性がある。だからそうは答えない。

勝手にするは中国では言えない。無政府的なことは言えない。

勝手にするは、日本、フィリピンが多い。そう答えても警察が来ることはない。自由に答えることができる。

コネは、中国、台湾、韓国、ベトナムなどの国で多い。コネは生まれた時に与えられたものと言う感覚で使っても恥じない。

1 Q: 「~に振舞いなさい」「~になりなさい」の、~の部分に入る言葉を 11 の言葉から選べ。

A: 独立、勤勉、正直、誠実、気配り、謙虚、忍耐、競争、尊敬、服従など

日本は、気配りが多い。勤勉も正直も独立も少ない。親から独立していない中で、独立なんて言えない。

韓国は尊敬がすごく多い。

シンガポール、香港は競争。

日本人は諦めているのか。

③ 県立大学の役割等

1 大競争時代が始まっている。外国の企業からすれば、新潟の企業は技術力、勤勉性、株価が安いことから一気に企業買収の対象になる。日本でも外国でも、対象がよい企業であればあるほど大きな企業が買いくる。

その時に少なくとも英語が出来、英語の契約文書が読め、国際的企業会計をできる人がいなければ勝負にならない。これからは全天候型の人材が必要となる。

国、県、市は頼りにならない。

徳川は藩校時代、明治、大正、昭和は帝国大学が引っ張り、下ろしていったが、その時代は終わった。

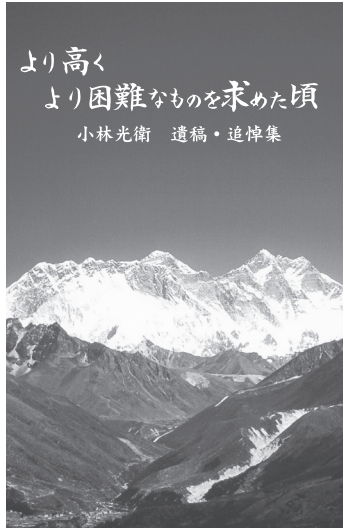
平成は県立大学の時代だ。問題があるところで、それぞれの特性を生かして技術力、力量、感性すべてを持って、地域課題に対応していくのが県立大学

同窓の本

「より高く
より困難なものを求めた頃」

小林光衛遺稿・追悼集

石田 瑞穂 (67回)



小林光衛氏、本校63回卒。在学中に山岳部の再建に尽くされ、国学院大学進学後は社会人山岳会の名門、鵬翔山岳会に入会、研鑽。傍ら母校山岳部を指導育成。卒業後は新潟県高校教員となる。中央高校勤務、登山部監督、顧問として長年活躍。同部を高等学校全国登山大会最優秀校に何回も導く。

その間新潟高校山岳部には、OBとして無償の奉仕、合宿等に同行、エベレスト登頂の石黒久君(73回)始め後輩を責任指導。急逝されて三年、彼を敬慕する山岳部OBとご遺族により「遺稿・追悼集」が刊行されました。ひたむきに山と後輩に對峙された姿をご覧ください。私費本のため残部がありません。同窓会事務局にてご覧ください。

母校は今

同窓生著作の寄贈状況について

新潟高校図書館部

今年度、学校長の発案で同窓生の皆様にご著書の寄贈を呼びかけたところ、多くの方々の賛同を得て、たくさんのご著書が本校図書館に寄せられました。

ご寄贈いただいた同窓生の皆様が、まことにありがとうございました。これらのご著作は本校図書館にコーナーを設けて生徒に提供

する予定です。また、時々内容を更新していきます。皆様も母校においての際は、図書館にもお立ち寄り下さり、同窓の方々のご著書を手にとってみてはいかがでしょうか。ご著作の寄贈は現在も受け付けております。高校生向けはもちろん、高校生には難しい専門書でもかまいません。どうぞ奮ってお送り下さい。

連携プレーお見事

転落救出
川濃女性

新潟東署 高校生に感謝状

気温八度の寒さの中、信濃川に転落した七十歳代の女性を助けたとして新潟東署は二十八日、新

潟高校三年砂山諒さんと本望さんに指示し、上着を脱ぎ捨ててシャージ姿で飛び込んだ。本望さんはすぐに通報。砂山さんは約十一分泳いで女性にたどり着き、「大丈夫ですか」と声を掛けながら、消防の到着まで冷たい水の中で十数分間待った。

二人は、二十一日午後四時すぎ、下校途中に通りかかった新潟市中央区千歳大橋付近でおぼれている女性を発見。砂山さんが「おれが川に入るから一〇番をかけて」

と振り返った。渡辺和雄署長から感謝状を受け取った砂山さんは「チームプレーで助けた後、消防署員から『ありがとう』と言われ、感動しました」と語り、



感謝状を贈られる本望菜穂子さんと砂山諒さん
=28日、新潟市中央区の新潟東署

人事異動報告

石澤聡教頭先生が病氣療養のため退職され、十月一日付けで佐藤真佐人先生が新しく教頭に着任されました。

大会報告

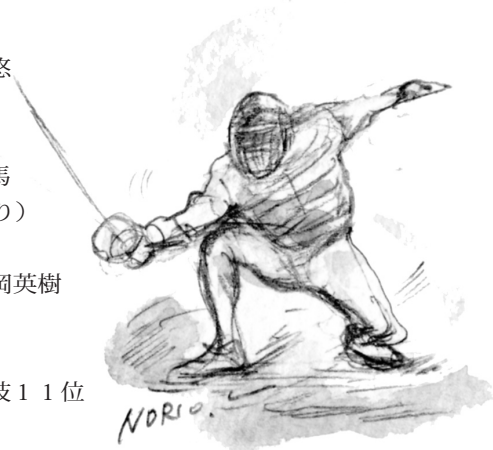
文化部大会成績

- ◎放送部 NHK 杯全国高校放送コンテスト新潟県予選
 アナウンス部門 第 2 位 川井美晴 第 6 位 安達みつき
 朗読部門 第 1 位 石澤浩子 第 3 位 程璐霏 第 6 位 入倉友紀
 ラジオドキュメント部門 第 2 位 ケンタカのライフスタイル
 創作テレビドラマ部門 第 1 位 SMILE MAKER
 (以上すべて、昨年 8 月の全国大会に出場しました。)
- Q K 杯校内放送コンクール新潟県高校放送コンテスト
 アナウンス部門 第 1 位 五十嵐南美
 朗読部門 第 1 位 入倉友紀 第 3 位 小澤海咲
 (以上は、今年 2 月の北信越大会、8 月の全国大会に出場します。)
- アナウンス部門 奨励賞 平山知加子 古山沙織
 ラジオ番組部門 第 2 位 「ベロッと新潟めぐり」
 (以上は、今年 2 月の北信越大会に出場します。)
- ◎囲碁部 春季県大会 男子団体 2 位 女子団体 3 位
 秋季県大会 個人 B ブロック 1 位 布施拓也 C ブロック 1 位 坪川澁弥
 C ブロック 2 位 渡邊幸佑 E ブロック 2 位 堀亜洲
- ◎将棋部 春季大会 個人 1 位 石原秀朗 (昨年 8 月の全国大会に出場しました)
 ベスト 8 頓所詩文 若林知哉 上村永
- ◎写真部 写真専門部展 カラー部門 優秀賞 本間千春
- ◎吹奏楽部 新潟県吹奏楽コンクール高等学校 B の部 銀賞
 新潟県アンサンブルコンテスト クラリネット 6 重奏 金賞
 サックス 5 重奏 銀賞
- ◎書道 新大全国競書大会 新潟県高等学校 P T A 連合会賞 久須美裕子
 読売新聞新潟支局賞 有田優理香
 特選 久須美裕子 松川慧
 準特選 5 名
 新潟県競書大会 新潟大学長賞 久須美裕子 (かな)
 特選 久須美裕子 (漢字) 塙孝哉
 近菜々子 渡辺朝美 上杉憲
 本田凧 倉元真理
 準特選 9 名
- ◎演劇部 県大会 優良賞
- ◎美術部 新潟県高等学校総合文化祭美術工芸書道展 平面部門 涌井涼司
 (今年 8 月の全国大会へ出品します)



運動部 全国高校総体・国体出場成績

- ◎陸上部 全国高校総体 男子棒高跳 7 位 高橋理寛
- ◎フェンシング部 全国高校総体 女子学校対抗 出場
 女子個人フルール 笠原未来 出場
- ◎ボート部 全国高校総体 女子ダブルスカル 石川富士美・岩橋悠
 準々決勝進出
- ◎ラグビー部 国体 県選抜選手として出場 勝見壮
- ◎水泳部 全国高校総体 男子 1 5 0 0 m 自由形出場 須藤拓馬
 (新潟県最高記録更新。17 年ぶり)
 男子 1 0 0 m 平泳ぎ出場 森岡英樹
 男子 4 0 0 m 個人メドレー出場 森岡英樹
- ◎ボウリング 国体出場 中平 凛
- ◎新体操 国体出場 阿部未侑加
- ◎シンクロナイズドスイミング 国体出場 山口 莉奈 デュエット競技 1 1 位



青山同窓会会則

- 第 1 条 この会は青山同窓会といふ事務所を新潟県立新潟高等学校内に置く。
- 第 2 条 この会は会員相互の親睦を増し母校の発展を図ることを目的とする。
- 第 3 条 この会は前条の目的を達するために次の事業を行なう。
1. 会員名簿及び会報の発行
 2. 青山倶楽部の育成
 3. その他この会の目的を達するために適当な事業
- 第 4 条 この会の会員は次の者とする。
1. 県立新潟中学校卒業者及びかつて在籍した者
 2. 県立新潟高等学校卒業者及びかつて在籍した者
 3. 県立新潟中学校、新潟高等学校職員及びかつて在籍した者
- 第 5 条 この会に次の役員を置き其の任期を二ヶ年とする。
1. 名誉会長 1 名
県立新潟高等学校長を推す。
 2. 会長 1 名
 3. 副会長 3 名
会長・副会長は総会で会員の中から選出する。
 4. 幹事長 1 名
 5. 副幹事長 若干名
 6. 監事 3 名以内
 7. 常任幹事 若干名
 8. 幹事 若干名
幹事長以下幹事迄は会長が委嘱する。

9. 顧問
総会の承認を経て推戴する。
- 第 6 条 役員の仕事は次の通りである。
1. 会長は会務一般を総理する。
 2. 副会長は会長をたすけ会長に事故あるときは代理をする。
 3. 幹事長は会長の命を受けて会務一般を執行する。
 4. 副幹事長は幹事長をたすける。
 5. 監事は会計を監査する。
 6. 常任幹事はこの会の事務を行なう。
 7. 幹事は会員との連絡を図り事務を分担する。
- 第 7 条 この会は毎年一回総会を開いて会務の報告及び諸般の事項を審議する。
- 第 8 条 総会及び役員会は会長が招集する。
- 第 9 条 この会は役員会の承認をもって、委員会を設けることができる。
2. 委員会の規則は、役員会において別に定める。
- 第 10 条 この会の経費は基本財産、入会金、会費、寄付金其の他で支弁する。
- 第 11 条 この会の会計年度は 4 月 1 日に始まり翌年 3 月 31 日に終る。
- 第 12 条 前年度の決算は総会に報告して其の承認を得なければならない。
- 第 13 条 会員が多数存在する地には支部を置くことができる。
- 第 14 条 この会の会則は総会に出席した会員の過半数の同意がなければ変更することが出来ない。

附則 平成 18 年 7 月 14 日 第 5 条変更 第 9 条追加

青山同窓会費納入についてのお願い

会費を納入していただきますと、「青山同窓会報」を月号お届けいたします。申し訳ありませんが、納入のない方には「会報」をお送りすることができなくなつてしまいます。是非、お忘れなくお振り込みくださいますようお願い申し上げます。

なお、会費は年会費(四月一日～翌年三月三十一日)となっております。

年会費 一口 一、〇〇〇円

できるだけ二口以上でお願いいたします。

振込先：郵便振替口座

全日制 00650・7・4455 青山同窓会
通信制 00530・1・74207 青山通教部会

同期会を開催される期の幹事の方へお願い

同期会の開催に合わせて、是非、会費納入者の拡大にご協力下さい。早めに、開催の期日を連絡頂ければ、事務局で、同窓会報・会費納入のお願い・振込用紙として A4 サイズが入る角 2 の同窓会封筒を人数分用意しておきます。よろしくお願ひします。

会報へ寄稿される方へ、原稿字数のお願い

原稿の字数は 800 字から 1000 字の間で書いて下さるようお願いいたします。1000 字以上ですと紙面の関係で載せられなくなる場合がありますのでよろしくお願ひします。

表紙題字：小川 和恵(101回) イラスト：池主 憲夫(68回)

